

車外の景色 エンタメに

ソニー・ヤマハ・カヌチャ・東南植物楽園

ソニー、ヤマハ発動機、カヌチャベリゾート(名護市)、東南植物楽園(沖縄市)の4社は17日、エンターテインメント車両「Socialle Cart(ソーシヤブルカート)

エンターテインメント車両のイメージ図(東南植物楽園提供)



「SC-1」の乗車体験イベントを、11月1日よりカヌチャベリゾートと東南植物楽園で開催すると発表した。国内初の試み。自動運転技術やMR(複合現実)技術によって新しい移動体験を提供する。

SC-1は、ソニーとヤマハ発動機が共同開発。車両前後左右に搭載するイメージセンサーにより360度全ての方向に焦点が合った映像を車内のディスプレイに映し出し、周囲の環境

自動運転車 来月から

を一度に把握できるところなどが特徴だ。

加えて、現実世界と仮想の映



海の生き物が泳ぎ回るかのような映像を映し出す車内のモニター。沖縄市の東南植物楽園内

像を組み合わせるMR技術を搭載しており、夜間の走行シーンを基に、MR技術が創り出すエンターテインメントコンテンツを楽しむことができる。

今回実施する乗車体験イベント「ムーンライトクルーズ」は、カヌチャゴルフコースと同園内の植物園エリアで夕方から実施し、約1キロのコースを10分ほどかけて回る。開催期間は来年2月14日まで。

カヌチャの白石武博社長は「楽しみにしていただけじゃなく、たくさんのご来場をお待ちしている」とあいさつ。同園の宮里高明副園長は「デジタルと植物の融合については、もっと取り入れていきたい」との考えを示した。